

講義名称	国際関係論	担当教員名	堀田 学
科目群	社会科学 (SOC)		
科目区分等	政治 CA7 DI5	単 位	2
対象学年次	1年・秋学期	ナンバリング	SOC112

授業のキーワード	国民国家、国際社会、グローバル化
授業の概要	現代の国際社会は、グローバル化が進行する一方で、反グローバル化の動きやポピュリズムなども世界各地で起こっています。この授業では多角的な視座から世界を見ることができるよう知識を得ることを目標とします。
期待される学習成果 (目標)	1. 国際関係論の理論を理解できる。 2. グローバルな課題を理解できる。 3. 国際問題を理解できる。

授業展開		
回	テーマ	内 容
1	国際関係論とは何か	授業のオリエンテーションと国際関係論についての説明をします。
2	20世紀の国際関係1	2つの世界大戦と国際関係について説明します。
3	20世紀の国際関係2	冷戦時代の国際関係について説明します。
4	20世紀の国際関係3	ポスト冷戦時代の国際関係について説明します。
5	21世紀の国際関係	近年のポピュリズムや自国第一主義が拡大する中での国際関係を学びます。
6	国際関係理論1	国際関係を見るうえで大切な理論について学びます。この回はリアリズムです。
7	国際関係理論2	国際関係を見るうえで大切な理論について学びます。この回はリベラリズムです。
8	国際機関	第一次大戦後に設立された国際連盟や第二次大戦後に設立された国際連合について学びます。
9	地域統合	地域統合の事例として欧州統合、EUについて学びます。欧州以外の地域統合についても学びます。
10	民族紛争・宗教対立1	民族紛争・宗教対立として中東問題を学びます。
11	民族紛争・宗教対立2	民族紛争・宗教対立として旧ユーゴ内戦を学びます。このほかの民族対立にも触れます。
12	環境問題	地球温暖化などの環境問題について学びます。
13	安全保障	安全保障について学びます。
14	日本外交	戦後日本の外交について振り返り、これからの外交を考えます。
15	これからの国際関係	今後の国際関係について展望します。

定期試験	重要用語の理解ならびに各講で取り上げた内容から出題します (記述も含む)。
授業時間外学習	国際関係論は特に19世紀以降の世界史の知識が必要ですので、高校で世界史を履修しなかった人は高校の世界史の参考書等で前提となる世界史の知識を習得してください。
評価方法	期末試験 (100%)
使用する教科書 (必ず購入してください)	適宜、参考文献を紹介します。
参考文献	佐渡友哲・信夫隆司編『国際関係論 (第3版)』弘文堂、2018年 篠田英朗『紛争解決ってなんだろう』ちくまプリマー新書、2021年 小川浩之・板橋拓己・青野利彦『国際政治史』有斐閣、2018年